

講義　事　録

説明会名	市立久代幼稚園・川西南保育所の一体化に関する保護者等説明会
事務局 (担当課)	こども未来部こども政策課
開催日時	令和7年10月28日（火）18時～21時
開催場所	久代会館
事務局	こども未来部長 岡本 敬子 こども未来部副部長 増田 善則 こども未来部こども政策課長 野田 忠生 教育推進部入園所相談課長 岸本 匡史 教育推進部教育保育課長補佐 小林 文恵 こども未来部こども政策課 朝山 千歌、瀧田 富子
参加者数	39人
会議次第	・配布資料に基づき説明 ・質疑応答

(司会)

それでは定刻になりましたので、ただいまより、川西市立久代幼稚園・川西南保育所の一体化に係る保護者説明会を開催いたします。私は本日、司会進行を務めます、川西市こども未来部こども政策課長の野田です。

どうぞよろしくお願ひいたします。

はじめに、受付で配布いたしました資料について確認いたします。

資料1 「川西市立久代幼稚園・川西南保育所に係る事業計画の経緯」、資料2、3、4と4種類の資料を配付しておりますが、お手元にないかたはいらっしゃいませんでしょうか。

開催に先立ちまして、事務局よりご連絡とお願ひがあります。

携帯は電源を切るか、マナーモードにしていただきますようお願ひいたします。

この説明会はお子さまの参加も可としていますので、もしいらっしゃいましたら温かいご配慮をお願いいたします。

本日の説明会は19時半までとしていますが、途中お手洗い等はご自由にご利用ください。場合によっては、職員も途中でお手洗い等席を外す場合もありますがご了承ください。また、もし気分が悪くなつたかたがいらっしゃいましたら、遠慮なく近くの職員にお申し出ください。途中で退席いただいても構いません。

当会場内の録音及び撮影はご遠慮いただきますようお願ひいたします。事務局は議事録調整のため、会議の内容を録音いたしますので、ご了承ください。皆様のご発言につきましては、ホームページ等で公開することがあります。その際には、個人情報に配慮し、誰がどのような発表したかわからない形で要約して公開する予定です。

以上が連絡事項となります。

続きまして本日の市の出席者を発表いたします。

(こども未来部部長、こども未来部副部長、教育推進部入園所相談課長、教育推進部教育保育課長補佐)

開催にあたりましてこども未来部長よりご挨拶申し上げます。

(市民)

挨拶前に申し上げずみません。本日はこの時間帯というのは本当に保護者が来づらい時間帯で、なぜ平日の火曜日のこの時間に説明会をしようと思ったのかご説明いただきたいですし、録画、録音を控えてほしいのですが、ここに来られない保護者が10家族以上いると聞いています。

そういうった保護者の方に対して、この場の空気や質問、質問にお答えいただいた内容も含めて私は伝えていきたいところなんですが、なぜ録画や録音がだめなのか教えていただきたいです。

(司会)

録画や録音をご遠慮いただいた理由としては、皆さまこの場でいろいろな意見を出されるかと思います。

場合によっては、市のはうは個人情報が出ないようにしっかりと確認して、Webサイトに公表することになりますが、それぞれ録音された場合は、本当は知られたくない発言が知られてしまうということを懸念しまして、録音や録画を控えていただいているります。

(市民)

だとするならば、個人情報を除いた内容を全てホームページあげたり、ここに来られなかつた保護者の方に説明しているということをあげてほしいのですが、それは可能ですか？

(部長)

本日の開催日程は、平日のこの時間帯で皆さまが非常に来づらい時間帯に来ていただいていることは十分承知しております。もちろんこの場にいらっしゃらなかった方についても、この場の空気も含めてしっかりとお伝えしていかないといけませんし、その場限りではなく、ご意見を承る機会というのは、聞かないといけないというふうに思っております。

今おっしゃられた発言の趣旨は私どもとしても重々承知いたしておりますし、今後対応していきたいと思いますので、本日に関しては、録画それから録音は皆様の了承をとっておらず、事前にお伝えをしていないところですのでご理解いただけたら幸いです。

(市民)

今の受け取り方としては、個人情報を除いて質問した内容については全てホームページに載せていただけるという理解で大丈夫ですか。

(部長)

はい。

そうしましたら、改めまして、皆さんこんばんは。

川西こども未来部の岡本でございます。

本日は本当にお忙しい中、久代幼稚園と川西南保育所の一体化に関する説明会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

また、保護者の皆様、そして地域の皆様には、平素から園所の運営や子育て支援に関して、ご支援、ご協力を賜っておりますことに対して改めまして深く感謝申し上げます。

ありがとうございます。

そして、まず、このたびの市の一体化方針に関しまして、保護者の皆様に非常に不安なお気持ちを抱かせるという状況になっていることに対して、お詫び申し上げたいと思います。

本日は、私どもとしましてもまずは市のほうから経緯などをご説明させていただきまして、その後皆様からご意見をお受けしたいと思っております。

市としても、皆様の思いや心配されていることなどをしっかりとお聞きしまして、市としてできることを考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(司会)

それでは、資料1 市立久代幼稚園・川西南保育所の一体化につきまして、こども未来部副部長より説明いたします。

(副部長)

画面にはお手元の資料を一部抜粋しておりますので、お手元の資料を見ていただいても画面を見ていただいても構いません。

久代幼稚園、川西南保育園一体化に先立った経緯を改めて説明させていただけたらと思います。

こちらに映っているのは、資料1の1ページ1番上の部分と同じです。

市の保育所、施設の一体化や整備についてどういうように決めていくのかですが、基本的には市で計画を作っております。当時は子ども・子育て計画をつくっておりました、その中に市立施設のあり方というものを謳っており

ます。基本的に計画は5年単位で作っています。

この当時は令和2年度から令和6年度で、この時点では、あり方については今後見直しいくというころを謳っております。

計画の中間年で見直すということも謳っておりまして、5年計画の中間年である令和4年度に改めてこの施設のあり方をこの計画の中で検討いたしました。

久代幼稚園、南保育所については一体化し、幼保連携型認定こども園にするとこの計画の中で、パブリックコメントを実施して、市民の皆さんに意見をお伺いした上でこのような内容にしておりました。

原則として、施設全体の新設は行わず、既存施設の有効活用を検討する。

老朽化への対応については、適切な手段を検討するとして、案を市民の皆さんにお示しました。

そのパブリックコメントの結果も踏まえ、次、資料1、1ページ目の1番下を見ていただいて、ここで方針としては、施設の老朽化が進んでいることから、令和5年度・6年度の2カ年で、既存施設の活用か新設とするかを含め、設置場所や定員など決定し、整備手法や運営方法についても合わせて検討し、令和7年度からの次期計画に反映しますということをこの中間年で計画として決定しました。

次に、2ページをご覧下さい。

中間年で検討すると謳った1年後の令和5年度に、川西市における就学前教育保育の拠点施設のあり方について審議会でいろいろな委員の意見や提案をいただき、示しました。

この時点で、久代南こども園については民間法人による整備・運営とし、令和10年度からの開設をめざすと素案としてお示しました。

この時点ではじめて、民間法人ということを素案ではありますが明記しました。

資料の点線枠囲み部分になります。

令和6年1月30日に素案として公表し、2月3月でその当時の幼稚園、保育所の保護者の皆様に説明会をしました。

それから、民間も含む就学前教育施設の皆様に説明をいたしました。

素案については令和6年4月に入所される保護者に対して、個別に郵送させていただいております。

令和6年4月に入所される保護者には、南保育所に入所しようとお考えになった段階ではまだ素案はお示ししておりませんでしたので、タイミングがどうしてもこの時期になってしまったのですが、周知文書を個別に出させていただきました。それ以降は市のさまざまなおりなどで、川西南保育所が令和10年度から一体化し、民間法人で整備・運営する案があるということをお示しました。

続きまして、その後、次期計画、5年間の次の計画の中で、先ほどお示しした内容について改めて盛り込むということを令和6年度に実施いたしました。

記載内容は同じです。川西久代南こども園については市営久代団地跡地に新設し、民間法人で整備・運営していくということを計画の案としてお示しました。

ここで、市民の皆さんに改めてパブリックコメント、タウンミーティングを実施しました。

その結果、令和6年度末に、令和7年度からの5年間の計画として、第2期川西市こども・若者未来計画の中で、同じく内容を明記しました。

現在令和7年度、今申し上げたような、過去の計画の検討の経過を踏まえて私たちが担当部署としてこども園の一体化に向けた取組を進めている段階です。

ここまでが今進めようとしている計画の経緯、どのような過程、計画としてどう進めていったのかをお示しいたしました。

続きまして、資料2をご覧ください。令和7年3月に久代会館でタウンミーティングを、市長と教育長が出席して開催しました。そのときいただいた久代地区に関する意見をここに掲載しております。

これはすでに市のホームページで公表しております。タウンミーティングでいただいた質問と回答をまとめています。タウンミーティングは多田と久代で実施したのですが、久代地区を抜粋していますので意見番号は15からとなっております。

このときいただいた質問と市の回答を改めてこの場で振り返りをしたいと思います。

意見番号24で、民間施設になる点が気になる。南保育所でこどもは充実した生活を送ることができている。久代地区から公立施設がなくなることはとても不安で大きな問題。拠点を作る考え方自体は良いことだと思うが、公立施設が減ると負担が増えて、拠点の取組が本当に上手く回るのかと思うという意見をいただきました。

そのとき、市のほうから回答した内容を一部抜粋しております。

市として、公立施設が全く必要ないと考えているわけではなく、公立には公立の役割があると考えるということを回答いたしました。つまり、公立の施設は拠点施設という位置づけをもって、民間を含めて就学前教育保育の質の向上にしっかりと取り組んでいくことが市の役割であると考えていると回答しています。

また、市内60近く就学前施設がありますが、そのうち約8割が民間施設です。待機児童数は0ですが、特定の施設を希望されて、保育所、こども園に入れない方を入所保留児と呼んでいます。

そういう方を減らすためには、もう少し施設もつくりたい。施設を増やしていくことについては、民間に委ねる考え方で進めています。

また、私立で大丈夫なのか、公立園の良さが私立でも感じられるのかという点については、拠点施設を作ることで公立の良さを民間にも広げたいと考えていると回答しました。

続きまして、意見番号番号25番。

ここでは、私立には私立の教育保育方針があり、市としっかりと連携できるイメージが湧かない。それから、民間園になると先生が民間園の方になると言われているが、具体的にはどのように変わるのがといったご意見、ご質問でした。市の回答としましては、他の自治体の例では、事前に民間の先生が公立園に入ってきて、一緒に保育ができる環境を整えたりするなど、様々な方法が考えられる。

それから、当然、在園児の方、保護者の方は不安に感じていると思います。

その不安を少しでも解消できるように、民間の事業者を募集する際にいろいろ工夫をしていきたい。さらに民間にお願いするがもし決定すれば、決まった事業者とさらに検討を重ねていきたいと回答いたしました。

意見番号37番と43番です。

新設の場所、つまり久代幼稚園、南保育所の建て替えではなく久代団地の跡地を選んだ、場所についてのご意見です。

場所の選択肢として、複数選択肢を検討しましたが、児童への負担などの影響を考慮して今の場所を選んだことを回答いたしました。

タウンミーティングのときに、口頭での説明のみでしたので、本日は詳しく資料をもって説明させていただけたいと思います。

資料3-1.3-2をご覧下さい。

久代南こども園の整備場所を市がどのように比較検討して、久代団地跡地がよいと考えたかこの表にまとめております。まず久代団地跡地について、メリットとして、現地建て替えではないので仮設園舎が不要のため、在園

児への影響が少ないということを考えました。ただ、懸案事項として前回のタウンミーティングでもご指摘いただきましたが、敷地周辺道路が住宅と隣接しており、また、狭いという声もいただいております。周辺道路の状況によって送迎ルートを検討する必要があるのかなと市として認識しています。

資料 3-2 に図面をかいております。

左側は今の保育所、幼稚園、久代団地、それから後ほど説明します久代小学校を主に検討したという位置図。それから、右側が久代団地で、ここに建てようと市が決定した詳しい図面です。上部分の既存の道は細いのではないかという声もありますが、

図面黒で囲まれている中間に道路がはしっていて、この道路を上に付け替えることを想定しております。敷地西側の濃い緑色の線に新たに道路整備を検討しています。北側既設道路の改修も調整中です。

また、決定したわけではありませんが、道路状況が悪いことも踏まえ、しっかり送迎ルートとして確保していくことで懸念事項に対して解消していこうというのが市の考えです。

次、3-1 の表の真ん中に久代幼稚園と南保育所の現地での建て替えを市の方でも検討させていただきました。メリットとして、新規開設後も今利用されている方の利便性が変わらない。

また、交通アクセスなどの現状も維持できるというメリットであろうと考えました。

一方、懸案事項として、幼稚園の敷地に建て替える場合は、南側に保育所があります。保育所を運営しながら、幼稚園を解体し、新たに建てていく工事の騒音を懸案事項としてあげました。

また、保育所の敷地に建て替えることも検討しました。こちらの場合は特に保育所を解体する間の仮設園舎の建設が必要になってきます。敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されていることが懸念されます。

あと、久代小学校の敷地も検討はいたしました。

ただし、この場所については周辺道路が狭いこと、通学路になっているため安全確保が困難であることがあり難しいと考えました。

現地の建て替え、久代小学校それから久代団地、どれが良いのか考えた中で、仮設園舎が不要で、在園児の影響が少ないということで久代団地跡地がいいと決定させていただきました。

次、意見番号が 32～36 番について、タウンミーティングのときにご意見をいただいたましたが、口頭のみで説明も上手く十分にできていなかったので、そのとき来ていただいた方に分かっていただけなかった部分もあったのかなと思いまして本日は資料 4 をご用意させていただきました。

こちらは令和 5 年 1 月 1 日に子ども・若者未来会議の中で、就学前のあり方について審議を委員の皆様にしていただきたいときの資料を簡潔にしたものです。改めて説明させていただきます。

川西北こども園をモデルとしておりますが、同じ規模の建物を立てた場合に民間で建てた場合と公立で建てた場合でどれくらい費用が違うのかということを表しております。建設費はどちらも同じです。民間の場合は、総事業費のうち、国のはうから様々な財政支援が受けられます。市からも補助金を交付します。そのほか、保育園を整理する事業所自身が負担していただく部分もあります。その中で、市が負担する額は 9,900 万となります。

一方、公立で建てた場合は、総事業費は変わらず、国からもらえる補助金も同一だと考えられます。

残る部分は市が負担するということで、2 億 6300 万円です。

この差が 1 億 6400 万円で、この差のことを、前回タウンミーティングで 2.6 倍の費用を払うということを説明させていただきました。

次に実際の日々の運営にどれぐらいかかるのかということも 1.63 倍の費用がかかるということを申しましたが、内容を改めて説明いたします。

民間の認定こども園と市立の認定こども園で、どれぐらい費用に差がというのをこの表にまとめております。令和4年度のその当時の数値を使っております。

まず民間認定こども園の1人1ヶ月当たりのこどもにかかる額というのが、この10万4000円程度です。これは国のはうが、公定価格と呼んでおり、こども1人をこども園で預かることに、国のはうがいろいろ割り出して算出して、標準的な金額として定めたものでございます。民間の事業者が運営すると、この金額が市のはうからもらえる額になります。

保護者負担額というのは同じです。これは保育料と呼ばれるもので、民間であっても公立であっても、保育料は変わりません。それから、国、県からもらえる補助金、負担金額も変わりません。なので差引き、市の負担としては、1ヶ月に、国が定めた標準的な費用から、保護者負担と国・県の負担を引いた残りを市が負担するということになります。それが約2万6,400円です。

公立の場合は、運営しますと、こども1人当たりにかかる額が、約12万円となり少し上がります。これは民間の場合でしたら、国が定められた費用がもらえるということになりますが、公立の場合は市の予算でこれは決まっています。これには当然、保育士などの人件費も含まれているため少し経費が高くなってしまいます。

市のはうで予算を立てた、1人当たりの額になります。そこから保護者負担と、国県からもらえる補助金額は一緒ですので、残りが約4万3,000円で、ここの差を比べると、1.63倍ということになります。

これを年間の1つの施設の運営費で比べると、その規模にもよりますが、この場合で試算した場合には3,610万円という試算になっております。

資料4の裏面にも記載しております。各自参照していただければ思います。

前回タウンミーティングでお答えした中で、ポイントとなることを本日改めて一部を説明させていただきました。なぜこの場所を選んだのか、公立と私立でどれだけ費用が違うのかを説明させていただきました。

最後になりますが、ここからお手元の資料を準備しておりませんのでスクリーンをみていただければと思います。なにをこれから市は取り組まないといけないのかを説明いたします。

まずは待機児童は減ってきており、令和4年度4月1日時点の待機児童数は0人となっています。この間、市が民間の保育所、こども園を整備した中で、定員を増やしていく解消ができたとなっています。入所保留児の数は、待機児童にはカウントしないが特定の施設を希望されていることで入所が叶わなかった数を表しています。これも4月1日時点の数になっており、令和7年度でも依然として91人、解消できていないことになっています。

私たちとしては、ここを今後さらに解消していくみたいという中で、さらに量の確保、定員を確保していく施設整備を今後も行っていく必要があると思っております。

もう1点、これまで質の高い保育というものを常に取組んで行っているわけではありますけれども、より質の高い保育が求められている背景があると思います。こどもが主体となる教育、小学校を見通した教育保育、様々な発達の特性に応じた環境設定、特別な支援が必要なこどもたち、それから外国籍のこどもの支援、また医療的ケア児につきましても、基本的には受け入れるという方針で取り組んでおります。

今後も皆さんのが希望される園に入れるように、待機児童、入所保留児が出ないよう整備を取り組んで行きたいと思います。ここにつきましても民間の保育施設の方で拡充をしていきたいという思いでございます。

また一方、質の確保、質の高い保育を目指していくということは、公立も民間も含めてその地域のすべての施設がそこを目指していく中で、やはり市の方では市の職員がここは先頭に立ってしっかりと取り組んでいきます。

その先導的な役割を公立施設としては果たしていきたいという思いがあります。

そういうことをするためには、やはり公立としましても人員の確保が必要となってきます。従いまして、それを拠点施設という形で位置づけて、拠点施設としてしっかりと取り組んでいく。拠点施設、民間施設という役割分担

の中より良い、未就学前施設の育成を進めていきたい。教育保育を進めていきたいと思っています。これから私たちが実現、しっかりと取り組んでいきたいという中で、今回のこの地域での一体化というものを、こういう考え方に基づいて進めているというものですございます。

当然、様々なご意見はあろうかと思うのですが、今市の方で令和7年度から、この計画に基づいて取り組んでいくということを、まず説明をさせていただきました。少し長くなりましたが、説明を終わらせていただきます。

(司会)

それではご質問、ご意見をお伺いしたいと思います。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問がある方は举手をお願いいたします。職員が順番にマイクをお持ちいたしますので、お待ちください。

(市民)

今、南保育所に通っているこどもがいる保護者です。

今、私立を指導する側の拠点施設にこどもを通わせられているのに、それがなくなってしまうのに不安を感じています。なので、拠点施設をまず潰すのではなくて、拠点施設を中心として私立の保育の質を底上げしてから、公立をなくしていくっていうのであれば納得できますが、指導する側の公立の園に通われているのにそれがなくなるっていうことが、どうしても納得が出来ません。

(副部長)

ご意見ありがとうございます。

拠点施設と位置付けてますのが、南部地区で今、加茂こども園と川西こども園の2つを拠点施設と位置付けております。

すみません、説明が漏れました。南部で23の民間を含めて就学前教育保育施設が今ございます。そのうち、南部で2ヶ所、加茂こども園と川西こども園を拠点施設として位置付けたということです。

この南保育所につきましては、この拠点施設とは位置付けないということにいたしました。

したがいまして、拠点施設と位置付けないこども園につきましては、民間の法人での整備・運営ということを進めたいなと今思っております。その中で、しっかりと拠点施設で公立が取り組むために、費用や人員の問題もありますので、そこはどうしても拠点施設にならない場合は民間にということになってしまふんですけども、地域のこどもたち、皆さんよりよい教育保育を受けていただけるようにという思いでございます。

(市民)

すいません。

拠点施設は具体的に私立の園に対してどのようなことをしていく予定ですか。

(教育保育課長補佐)

拠点施設はまだ、今何かスタートしているというわけではないのですが、この拠点に、幼児教育保育アドバイザーというのを配置いたしまして、その者が各園所を巡回をしたりだとか、あと大学の講師の先生と一緒に実地研修という形をとって参ります。

現在も実は民間園所につきましては、年間1回、実地研修という形で、訪問をさせていただいております。それ以外にですね、教育保育課の指導主事が園のほうを回らせていただいたりしています。

現在は先ほども話の中にありましたように、園所が 60 施設ほどありますので、教育保育課の担当が 2 名で回っている状態ですので、なかなか全部を満遍なくっていうのが難しい段階ではあります。

ただこの拠点にそれぞれ幼児教育保育アドバイザーを置くことで、さらに丁寧に園所を回ることができるのでないかということで今計画をしております。

(市民)

すいません。

久代地域で令和元年から、去年、自治会長をしていました。

今の経緯のほうはいろいろご説明いただいて、経緯を最初に、ご説明がありましたが、その出席されたメンバーはどういった方が出席されて、人数的にもどういった方が出られたというのが 1 つですね。

私も自治会長をしてましたので、この会合に 1, 2 回は出席させていただいてるんですけど、やはり途中でのご説明があまり今説明あったほどの内容ではなかったので、特にこれだけ、今のこういった、皆さんのご意見がちょっとずれ違ってきて、今年、去年からは何かそういう通知が来たとか、特に、今年の 3 月の時点で、具体的な内容は、皆さんに連絡行った段階ぐらいから、えーこんな話あったんだというようなお話をどんどん広がって、私たちが全然聞いてないうちに、ここまで決まってるんですかというご質問を聞くんです。

そういうことからやはり川西市が、ちょっと目先のことばっかりで自分たちで決めておられたのかなあというような形も、やはりみんなここで考えてはるのは、久代地域で僕もそうだったんですけど、久代幼稚園から久代小学校という形でずっと住んできたのでやはり小さなときから一緒に同級生というのがあって、それがずっと自然に育ってきたという感覚がありますので、やはりその一番大事な保育園、もしくは幼稚園の学年がもう自分たちで選べない、転々とたらいまわしされてるような感じというのは、非常に私としては、よくないことじゃないかなと思います。

うちの孫にしても 1 人は久代保育所と南保育所入れていただいたんですけど、お兄ちゃんのほうは無理で、能勢口まで毎日通うような形で、今は久代小学校に通っています。

やはり僕たちの目から見てもやはり近くの地域で順々と育っていくことが、特にここの今出席されてる方は公立を希望されているということで、やはりそれを解体されるということに対してすごく反発されてるので、十分に考えていただきたいなと。

(副部長)

ご意見ありがとうございます。

これまでこういった今日のようなお話が、昔はそれほど出来てなかったんじゃないかというご指摘かと思います。

こちらの、資料の繰り返しになってしまふんですけど。資料 2 枚目の令和 6 年 1 月の拠点施設のあり方についての素案を、当然ここには様々な専門家の皆さんも委員として入っていただいて、その答申も踏まえて策定したものになります。この内容は保護者等説明会を実施させていただきました。それから

(市民)

これねえ、説明会をしましたって言いますけど、ほとんど反対意見が上がってるような状態で、それでも進めていったって、やら民主主義なのに、反対や言うてんのに意見取り上げてもらへんと、どんどん進んでいってのって何でなんですか。

(副部長)

このときに様々な意見はいただいております。

(市民)

でも、久代幼稚園で説明会したっていう、タウンミーティングやったって13人って書いてましたよ、ホームページ見たら14人かな。

いろんな意見あった中で、ほぼほぼ反対の意見でした。

なかなか13人、14人の意見が尊重されたら、何でこれだけの意見言ってる。ましてや地域の意見も今聞いてないっていう話じゃないですか。地域聞いてへん言うてはりますよ、今。誰がどうやって進んでいたか、丁寧に説明してください。

(部長)

今日ご説明した資料1に書いております説明内容については、我々のほうで皆様にご説明させていただいたというふうに認識をしているものです。

今ご質問ありました、もっと前の経緯から令和元年度からの経緯が書かれているけれども、地域のほうに、どのような説明がなされたのか保護者にどのような説明がなされたのかというご質問だったかと思います。

令和元年度、2年度辺りの地域へのご説明の経過につきましては、一旦我々も戻りまして、確認をして改めて何らかの形でお伝えをさせていただきたいと思います。

今ご意見としておっしゃられた、久代幼稚園、保育所から小学校に上がって、中学校に上がってっていう、その接続の部分っていうのは私たちも非常に重要なことだというふうに認識をしています。

そこは接続期カリキュラムっていうような形での取組をしているところでございます。

そういうご意見をしっかり踏まえて、その内容も含めて教育保育の質の向上っていうことで、取組を進めたいというふうに考えております。

ありがとうございます。

(市民)

一番最初に、質問があった公立から民間へ移動するその不安っていうのは、そのアドバイザーがいることで解消するっていうだけですか。

加茂っていうたら結構距離ありますよ。

ほんとそれ反対やって言うてるのにそんなもん考えんと、アドバイザー1人作っていろんなところ回っていきますそんなんも回るんですか。これ、久代が見放されているのと一緒にじゃないですか。

後、我々、駅もあって、若い世代もたくさん入ってきて、こどもたちも今ふえようとしているって、そんなこどもが減ってる地域とは違うと思いますよ。

せやのに何か、おかしいですかやっぱり。

こうやってどんどん減らして、説明したって言って、振り返りますって言って振り返ったらこれはこうやっていう決め手な言葉を持ってきてはれへんわけでしょう。

地域が賛同してくださったからここに行きましたとかっていうわけじゃないわけでしょう。地域からもこうやって声が上がってて、そんなん賛同してへんって言ってる中で確認するもなにも、もうその意見が出た時点で賛同っていうか、私たちの声を全然聞き取って進んでへんっていうその温度はわかって欲しいと思います。

(市民)

ちょっとお願ひがあるんやけど、質問、答えるときは、病気やなかつたらマスク取って。表情が分からん。人と話するときは、病気でないときはとてするもんや。表情も見て話ししないとわからん。

(部長)

はい。ご意見ありがとうございます。

(市民)

ちょっとといい。

さつきから聞いてたら、もちろん子どもたちのことを考えてやっていただくことは非常に大事やということで、一番のことやけど、親の利便性というのは全く考えてない。

親ほったらかしやんか。でも子どもをもっているのは親やで。親と子どもの利便性を考えた上で考えていってくれんと。金がどうのこうのとかへったくれっちゅうのは、2番3番の話。国から金取ってくるのが市の役割やないんか。

国がこんだけしか出ません。そんな問題やないやん。

もっと、だから親御さんたちが何を不満としているのか、何を心配しているのか、ちゃんとしっかりと聞いた上で進めいかんと。こんなもん後からどんどん問題出てくるやろう。

それに、皆さんもわかるように、令和元年から令和7年に対して、急激に変化してますよ。

人も考え方も全て、我々ついでいかれへんぐらい変わってきてる。そんな中でね、元年にどうやったらこうやつたから、今もそれを引きずつて「こうです」言われても、それはちょっと違う。

もうちょっと考えてほしいなと思う。

(副部長)

ご意見ありがとうございます。

当然保育所、こども園、保護者の皆様が利用しやすいようにという観点も当然考えていかなくちゃいけないなどいうふうには認識しております。

また保護者の方が不安に思われる方がどういったことが、生まれてることをしっかりとお聞きして進めていかないといけないというふうに思っております。

(市民)

聞けてなかつたなっていう認識はあるってことですか。認めるってことですか。

今の発言は、ちゃんと地域の意見や保護者の意見をこの計画に反映させてなかつたなというふうに認められるっていうことですか。

(副部長)

この計画自体はこれまでの先ほど申し上げたようなプロセス、タウンミーティングそれからパブリックコメント、その以前には子ども・若者未来会議という場で専門的な知見からの議論を踏まえて作成したものでございます。

それについては、令和7年度からの計画ということで、計画は決定したということですので、私たちの立場として

は、その計画に基づいて進めていきたいと考えております。

ただ、タウンミーティングときもそうでしたけども、本日もしっかりと意見を聞いてないと、十分でないというご指摘については、しっかりと受け止めなくちゃいけないと思いますので、今の計画を前提としながら、意見を酌み取って、不安に思っておられるところを私たちがしっかりと聞かしていただいて、何ができるのかしっかりと考えていきたいなと思っております。

(市民)

私は子どもが3人いて、転勤っていうものもあったんで、4回目で川西南保育所にきました。やっぱり保育園は今まで3つの制服、冬服、夏服、体操服、お菓子代、クリスマス会など何かしら毎月出費があつて、せめて体操帽だけでも同じ色になってほしいと思ったけど、見事に全部違うから買うことになりました。

川西の民間の保育園に通わせていましたんですけど、利用者にしかわからない不信感と、こちらのストレスがすごくて、こちらの川西南保育園に転園してきたんですね。

で、お金をかけたくない、お下がりでやってきて、今回子どもが、新しいところに行くのか引っかかってるんですけど、園が変わったり、先生が変わればまた多分慣らし保育が始まると思うんですね。

それと同時に子どもが小学校に上がるんですね。新しい環境の壁と、1年生の壁って、私にはすごいでかいんですね。2年後のことを考えるだけで、2年前の今日からめっちゃストレスやし、川西市を去年の夏から学力を上げようとして市がお金かけて、民間事業者へ業務委託をして、7校ぐらいの中学校に放課後、無料で勉強教えるサービスへ行ってるって聞いたんですね。そういうものは、神戸とか大阪とかでやってるけど、近辺は川西がやり始めて、週1回、1時間無料で、そういうことをしてるっていうのも聞いたんですけど、そこに投資できるお金があるんやったら、今回こどもたち、移る2学年分も冬服などその他諸々今まで保育園はかかってきてなかったものは全部免除していただきたいし、当たり前やと思うんですね。

(副部長)

ご意見ありがとうございます。

おっしゃる通り、保育料は一律、その家庭の所得に応じて、同じ額になっておるんですが、各施設で実費徴収的に集められているもの、その他徴収金につきましては、差があるのは事実です。

そこが、施設が変わったら負担になってしまうことがあるのも事実としては認識しております。その点につきましては、市全体としての課題であるというふうには受け止めております。

ご意見ありがとうございます。

(市民)

今の意味がわかんない。

市全体という意味ですよね。

(副部長)

例えば、今、南保育所から、次の施設に移ったときに徴収金が高くなるんじゃないかというご意見は、これまでいただきました。

ですのでそこについても当然課題というか、問題はあると認識しておりますが、それがこの南保育所から移ることだけじゃなくて、市の中で様々な施設がありますので、それぞれ徴収金の額も違うというところは市全体としてのそういう違いがあるということを私は説明させていただきました。

(市民)

要するに、お金の話については、そういう議論が出てくるっていうのはわかりますと。自然にそういう質問が出てきますよね。わかりました。ですか？

そのお金についてどういうふうに今困ってはるって言うてるのに対しては、検討していきますなのか、それはもうちょっとお金のことは他の民間さん任せてるからようかみませんわなのか、どういう答えなんですか。

(副部長)

今市のほうでも、その一定の家庭の所得の状況も見た中で、実費徴収的なものを補填するという制度がございます。

そういう制度はありますので、そこはしっかりと運用していくと。

ただ現時点では、それ以上に何かこう、制度はございませんので、今申し上げることとしては、何か新たな事としては、内容はないということにはなってしまいます。

(市民)

こども園って幼稚園がわりだと思ってるんですね。

それで実費徴収何かと毎月かかるっていうのはわかってくるんですけど、私が一番言いたいのは制服代、今かかるないものが強く嫌。

(部長)

おっしゃるように、今ご意見の中で、お子さんがちょうど令和10年度に影響を受けるというようなお話をしました。確かに今、南保育所に在籍しているお子さんで令和10年度の移管のときに影響を受けるお子さんがいらっしゃいます。

ですので我々としては、民間に移管するとしてもその民間法人には、保護者負担が南保育所と変わらない程度で、それは運営をして欲しいっていうようなことは、公募条件にはしていきたいというふうに思っています。

(市民)

していきたというのは、まだ公募されていないってことですか。

(部長)

公募はまだです。来年度に公募する予定にしております。

(市民)

そうすると運営方針が分かるのはまだまだですか？もうあと2年しかないんですけど。

(部長)

令和10年度の開設に向けて、令和9年度に整備工事、令和8年度に法人の募集っていうのをしていきたいというふうに思っています。

(市民)

来年募集、再来年工事して 10 年からスタートということですね？今は募集されてないということですね。

(部長)

はい。

(市民)

文書が家に届いたのですが、今日来たのは、何かひっくり返るかなと期待を込めてきたんです。

でもさっきからきいていると、拠点施設がどうとか、全部決まったんです、になっていてそれの一点張りなのがすごい嫌で、何のために説明会をしてくださっているのかなと思います。

説明で質の向上や保護者の不安を解消するとかありましたけど、どうやってするのかという説明がなかったなと思います。

今、子どもが令和 10 年度どつかの園に行かないといけないんですけど、最後、憧れる年長さんになるはずやのにできない。憧れる大事な 1 年を違う先生たちと一緒に過ごすのは、本人たちがかわいそうだと思っています。

南保育所を選んだのは利便性がすごくなくて、新しい園ができる場所に行ってみたんですけど、

行ったことがありますか。自転車で行かれたことありますか。私は、こどもを乗せずに行ってみたんですけど、こどもを乗せていない状態でもう本当に危なくて、車も路駐してるし、道も細いし、こども乗せて電動自転車で行って見てください。

通れません。

対向も出来ません。危ない。

こども死んだらどうしますか。いろんなこと考えて欲しいです。

お金じゃなくてこどもの命を大事にしてほしいです。

繰り返しになるんですけど、質の向上とか、就学前の充実した生活とか、保護者の不安は、どうやって解消してくださいますか。

(部長)

大きく、お子さんの、保育の引継ぎのことと周辺道路交通へのご心配っていう 2 点だったかと思います。

まさにお子さんが令和 10 年に最終学年で、知らない先生と過ごすっていうことに対する不安っていうのはもうおっしゃる通りだと思います。

お子さんにとってストレスのないように、どんな形で、その決まった法人さんの新しい先生との引継ぎができるのかっていうようなことは、公募条件の中に入れて、法人さんが決まれば、その法人さんとも対話しながら、どのような形で引き継いでいただくのかっていうのは、しっかりと詰めて、お子さんにとって、スムーズに新しい園での生活ができるようについていることは何よりも大切にしていきたいっていうふうに思っています。

(市民)

それ、公募条件の中にどうやって引き継ぐんですか。いや、ここで面倒見ますよって預かったんちゃうんですか。この子らを。

公立で面倒見ますよって預かって、紙切れ 1 枚だけ送ってきて、それが説明したっていうことになるんですか。

もうね公募条件で向こうさんにどうやって引継ぎできるかって聞くんですか。

現段階で今考えてないんすか。

こんだけ話進んでて曲げられへんみたいしたことだけ言うのに、どうやってこどもを大事にするかとか、全く出て

きませんやん。

ほんで、今出てきた言葉言うたら、相手さんにそれ頼んで、引き継ぐことについて1回でも南保育所の先生にそういうことを相談されたことあるんですか。

こういうふうにあと2年後には迫ってきましたけどって、そんな話も聞かないですし。

市長に聞いてもね、この前お祭りのときあいましたからちょっとお話をしてもらいましたけど、「どうしてもね、その入れかわりの時期のこどもさんっていうのは負担が大きいですし、不安も大きいでしょうからねそれはしょうがないですね」ぐらいの感じで出されましたけども。

(市民)

ごめんなさい、こども・若者未来計画の理念、何でしたっけ。

(副部長)

こどもの幸せから始める、

(市民)

全てのこどもの幸せから始める。犠牲になってるじゃないですか。犠牲をするところを考えた上での計画じゃないですか。

(市民)

それで南が犠牲になるんですよね。全体の質を上げるために民間に南を委託して、費用を浮かして、全体の質を上げようとしてるんですよね。

(市民)

さっきの説明はそういうことになりますよね。

お金が足りません。

民間さんを充実させるためには、これ以上公立は存続出来ません。だから公立潰すんですよっていう話ですね。その犠牲が川西、この久代の南の子どもやらやっていうことじゃあ、こどもはどういうことを考えてくれてるんですかって全く出ないじゃないですか。

結局丸投げ。民間さんにも丸投げするんでしょ。

(市民)

令和8年に募集して、1年しかない。

(市民)

私民間で働いていたんですけど、民間の実態というものを、どれだけ市役所の方はわかってはるんかなって思います。

民間の研修するっていう、けど、研修に行くのはね、多分そこの保育士さんやと思うんですけど経営者はね、民間って絶対儲けないといけないんですよ。

儲けがないと経営成り立たないから。つぶさないためには、絶対に儲けていかないといけない。民間の保育所の経営者は、じゃあどこでもうけを出すのか。

どうやって出すと思う。

考えたことがありますか。

儲けを出すために何かいろいろお願ひしますって言ってますけど、それを実現していこうと思ったら、儲けの部分をどんどん削っていくことになるんです経営者側から。やりたくないことばっかりなんです。

それでお願いします。

私は絶対実現なんて無理やと思います

(市民)

長男が川西南保育園に入れなかつて1年間民間園にお世話になったんですけど、やっぱり不信感があったのは人件費を削減してるなと思っていて、本当に早く迎えに、みたいな。

すごい、先生何をしてるんやろって思います。

今の先生方は、全然そう思わないのですごい差ですね。

引き継ぎの件で、先生との連携をとっていくとおっしゃっていましたが、こどもたちはやはり園を離れることを考えられている親もいて、こども同士が離れてしまう、〇〇ちゃんと友達の名前を呼んでいるのにこんなことで崩れてしまうんやってかわいそうやなって。

先生だけじゃなくて、本人たちのことも考えてあげてほしい。

(市民)

何で民間になっちゃったんですか。令和5年1月と4月には説明会とかがありましたけど、民間になるって決まったのはこの後ですよね。この間に何があったんやろって。

自分が民間園でいろいろ見てきているから、教育保育というのはやっぱり公立がすごく大事。

こども園になる、一体化する、それもどうかなと思いながらでも公立でしてくれるんやつたらって思ってたのが、ころっと変わって、この資料を見たら、民間にしたほうがお金がかからへんみたいな感じやからね。

川西市はこどもにお金使いたくないんかなってやっぱりそういうふうに見えます。

それはやっぱり保護者のすごい不安やし、こどもにお金使えへん市に誰が住みますが。

(市民)

建て替えに費用がかかるから民間にするのであれば、建て替えは私は望まないです。

建て替えて民間になるぐらいだったら南保育所がそのまま今の建物で、今の場所で、整備してほしいです。

(市民)

令和10年にもう廃園などというのは決定事項なんですか。

(副部長)

今計画の中では、令和10年度に民間の整備法人のほうで運営を開始を目指すことを計画ではうたっております。

(市民)

民間でなんばつくつていただいても結構だと思うんですけど、今の南保育園を取り壊すということを先延ばしにするとかそういう考え方はないんですか。

(副部長)

計画の中でこここの保育園、保育所をいつ閉園するということはうたっておりません。

ただし、南保育所と久代幼稚園を一体化して、認定こども園化していくんだという計画になっておりますので、そこは一体的なものというふうにご理解いただけたらなと思っております。

(市民)

一体化というのはもう決まったということですか。

(副部長)

令和7年度からの未来計画においては、一体化ということは、計画としては市が決定したというふうに、ご理解いただけたらなと思います。

(市民)

どれだけ反対でてもそれでいくんですか。

(副部長)

これまで、計画を策定する中で、いろいろな意見もいただいた上で、この令和7年から計画を決定させていただいたということです。

(市民)

なぜそれが決定できるんですか。

こんだけパブコメにも書いて、説明会出て意見言うて、反対反対反対で反対の意見ばっかり出てんのに、何でそれで進めるんですかそこの理由を教えてください。

川西がお金ないからですか。

こどもにお金かける気がないからですか。

(副部長)

お金かける気がないとかいうことはそういうわけではなくてですね、当然川西市においても先ほども中学校の放課後学習支援もありましたけども、様々なこども若者施策に投資をしてきていると。

それから新規施策の一定の額は、こども若者に投資していくという財政運営をしておりますので、決してお金をかけないということではありません。

ただ先ほども申しました公立と民間の役割分担を進めていく中で、質の向上を図ることによって、全ての就学前の質の向上をめざしていくとという理念のもとに、この取組を進めていきたいという思いでございます。

(市民)

だからあなたがたね、ごちゃごちゃ隠してるけど、この保育所問題だけじゃないやない、今の川西市の進め方として。

私、保育所の問題からちょっと話しなかったけど、他のことでも全部そうでしょう。

部活にしてもそうやし、スポーツクラブ立ち上げたって、全部民間に任そうとしてるよ、市がやってたこと全部民間にうつってるやん。

だから、川西市としては、その保育所だけじゃなしに全ての今までやってきたことを全部民間に任していこうという、委託していこうとしてるやん。

そういう方針なので、それを基に考えて、こういうことを全部考えていいちゃうんかいな。何もこどもさんのためにどうのこうのって、ええ事言うてるけど、それやつたらもう言われてるように、こんだけはつきり言われてるわけでしょう。

そんなん民間委託いうたら、さっき言われたように私も一応事業主やからね、民間でやろうと思ったら、今言うように、金を儲けることをまず考えるよ。命より金やんか。

会社潰したら自分らが借金かかえなあかんねんで。

だけど、市っていうのはそういうところのね、皆さんの中を預かって、そういうところに入れていくんじゃないの。

だから市民病院でもそうやけど、なんぼ赤字になったって、市民病院はよいと言われてるやん。

何でやいうたら市民の命を守るためにには、そのためにお金を投資するっていうことで赤字になってます。でも、民間の病院は赤字になったら潰れて、破産ですよ。おんなじことちやうんか。全部。

だからこれだけやっぱり公立の保育所残して欲しいという考え方で、みんな久代、ましてあそこ、久代の拠点なんやね、中心。

他にバッてやられてここへあんたらここに土地開いたから、ほなここに建てたってある程度の人間、こどもたちがそこに入れることができるからまあええか、じゃないねん。

拠点といって久代は今生懸命広げていって、その1つの拠点として、一番大事な、国も言うてるやん、こども、子育て一番大事なところだよ。

そこを久代としては拠点を残して、中心として広げていって欲しいわけよ。そういう意見なんか聞いてへんやん、これ。

もう長年コミュニティにいてますけども、そんな話は聞いてない。

こっちからそんなことに対して言ってない。

コミュニティを大事にせなあかんのやつたら、今、子育てをするこういう保護者の方々がそういう人たちと一体化せなあかんのに、あなた方、一体化をね、潰していくってるよ。コミュニティはそのうちなくなりますよ全部。コミュニティをなくしたら、市が全部、コミュニティをやってきた我々がやってること全てやってくれるんやな。

全て市が我々を守ってくれるんやね。コミュニティは何もしなくてええんやね。そういうことにまで引っかかってくるのよ。こどもたちと高齢者と、今の保護者たちね、みんなが集まってこそ、この久代の地域は明るく住みよい。ほんまにいつも政治家が言うけど、明るい住みよい安心なまちづくり。それっていうのは、今これ、今みんなが言ってることをやつていかないと、そういうまちづくりができひん。間違いなくコミュニティ潰れる。自治会も潰れる。そうでしょう。現実みてるやん。自治会どんだけ入ってるん。自治会なんか入らんでもいいようになってる。おかしいんじやない。そこも、そこも、バラバラになってきてる。

(市民)

市がばらばらにしようとしてますよね。

(市民)

我々は繋がりを持って、この久代のまちを、少しでも、今言つたように明るく住みよいまちにしたい。

こどもたちが安心できるようなまちにしたい。そういうことを一生懸命コミュニティとしては訴えてるのよ。

一生懸命訴えたって、こんなことを認められたら、コミュニティがなんぼ訴えたって、皆さん何やコミュニティ

がどうしても訴えたって何もならんと思われるやん。

(市民)

やっぱりコミュニティ、PTA自体がほとんどあって、ないような形になってますんで、やっぱりコミュニティはPTAとかそういった父兄さんにお手伝いしていただいて将来、皆さんが頑張ってくださいという繋がりがあったのが、今もうコミュニティが学校に連絡しても、今PTAとして活動してないのでということで、父兄参加というものがほとんど出来てない。

そういうた、これは全国的なもので、川西がどうのこうのとは言えないですけれど、どちらかいうと越田市長が一番最初に掛け掲げられたのがそのPTAに対しての皆さんのご意見を聞きたいということで皆さん集められて、結局任意制という形で私がやりますという方が中心になってやつてくれたらしいという形をとられたので、どうしてもそういう方はなかなか手を挙げられない。ということは結局各地域の自治会の総務会というのも、もう全部解散します。

PTAのそういう活動もほとんど、参加していただいてませんので、結局僕らとしても連絡をして、皆さんに参加してくださいと言いたいけど、連絡を全部切って、連絡の組織をつぶされてしまったんで、はつきり言ってもう、コミュニティ自体の将来性はないかなと私自身も感じています。

(市民)

私はこどもがみんな成人になってるんですけども、川西南保育所、公立の保育所ですけども、お世話になりました。

私1つ言いたいのはやっぱり、公立保育所で、やっぱりこどもたちね、伸び伸びと、知育なり保育なりさせていただいて、本当に立派というか、普通に常識のある、大人に育ちました。やっぱり働きながら保育所に預けて、お母さん同士の交流もあったんですね。まだ私たちがこどもを久代小学校に通わせているときは、PTAという組織もありました。その中でやっぱり、もうそういう人間としての関わりていうのがね深まっていくんですね、どうしても。今の時代でやっぱりこう、コミュニケーションがとりにくい。その中でやっぱり1つ、PTAがなくなつたのもショッキングだったんですけども。川西南保育所がなくなるとか、その幼稚園と一体化になる、それも民営化になる。

そして場所も、何ていうんですか、今の場所やったら駅も近いし、利便性もあって、それが何か坂の上のなんか消防署の跡ですか。そんなところで、すごく道路も狭いし、やっぱり皆さん、小さいお子さんを自転車に乗せて、さっきもお母さんが言われましたけども、本当に危険やと思うんですね。そういう、今お聞きしてて、やっぱり、保護者の意見を酌み取る。やっぱりやめて欲しいっていう意見に寄り添って欲しいんですね。

何か決まったことに、何か保護者の意見も聞かないで、強硬にやっていくっていうのは、そこからしてやっぱりどういうんですかね、人間関係が希薄というか、かかわれないような状況になってるんじゃないかなあと思います。もっと保護者の意見を聞いて欲しいです。そういう会じゃないですかね。

(市民)

もう今開いてくださってる会が何の会議かなっていうのはすごい思ってて、説明会、言ってくださってるんですけど、決まったことを決定したことだから納得しなさいという会なのかなと思っています。

今年の3月から説明会に参加させていただいたのですが、そのとき市長も参加されていて、そのときももう自分が判を押したらもうこの計画が進むみたいな形で、そういう状態で説明会をされているのがすごいおかしいかなと思って。

私としては、令和5年度の民間法人による運営としますというあたりで、みんなの意見を聞いたり、チラシで保護者に、お知らせするだけじゃなくて、ここでせめて意見を聞いて欲しいなという想いあったかなっていうのをすごい思っているのと。

拠点施設を作ることで、公立のよさを民間に広げたいとおっしゃっているんですけど、それがどこまで、現実的なのかなということ。それから、新しく川西南保育所と、久代幼稚園が一体化した民間のこども園がつくられるとして、どこまで公立のよさを民間にできるのか、どういう手立てで公立の良さを引き継いでいくてくださるのか、そういうことが全然見えてこない。保護者もそんなに反対というか、意見を言ってるのに、聞いてくださるつもりはないのかなっていうのをすごい感じています。

(市民)

聞く気ありませんよね。説明会っていったわけで、決まったことを説明しに来ますよね。

今まで説明会なのかパブコメだの、タウンミーティングなども全部やりましたけど、全部無視してきたんですか、説明本当に聞こうと思ってくれてはるんですか。何かこう尊重してもらえるものってあるんですか。

(副部長)

繰り返しになってしまいますが計画の中で、決められた範囲でどのようにして、皆さんの意見を、お聞きして、新たな民間法人を募集するときに、

(市民)

計画の決め方が間違ってるんじゃないですか。計画の決め方もお偉いさんが集まってきて、そこに川西の保護者つて何人いたんですか。もう上のほうだけでも雲の上の人だけで決めたことを下ろしてきてるんちゃいますか。ほんでも下でざわついても何も上に上げてくれないわけでしょう。

(市民)

だから、結局は民間に放りなげたら、市としては何も手だてせんでいいわけよ。

今もさっきからも言われてるようだ、民間と市がやる公立の違いなんて、メリットデメリットの問題ではないよね。今の保護者のさんは、デメリットのお金がかかるとか何らかのデメリットがあつても、公立園に任せて欲しい。それはこどもたちのことを考えて、自分たちのこどもたちのことを考えると、やはり今の保育所がやっぱり大事だと思ってるわけですよ。

市はもうさっきも言ったけど、話が多くなるからまたあれやと思うんやけども。市はもう初めから、何でも今、民間委託しようとしてますよ、はっきり言って。この問題だけじゃないのよ。他にも民間委託しようと移行しようとはしてるよ。

だから、それありきで話をして、こういうものを決められたら、幾ら市がやっている、市政がやってもらえるようなことにはする気はないねん、今言われているように。話聞いてるだけやん。一応あんたら聞いたで！って。「でも私たちはもう民間に進めるしかないんです。民間に、その今までやってきたことを、少しでもそれをやってもらえるようにする」——できるかいや、そんなもんできるわけがないやないの。あんたら、わかってるやろ、ほんまは。民間と市がやることが一緒やったら、あんたら何の値打ちもないで。

(市民)

南保育所でこどもを見ていただいた保護者です。

何もなかったらもう何も言わずに帰ろうと思ってたんですけど、やっぱりちょっとともやもやします。ちょっと気になってるところはやっぱり、ここに初めて説明会に来たんですけども、来るまでにどういうことがやっぱり大事かなあということを考えながら来たんですけど、南保育所ってここにもたくさん書かれてるんですけど、質の高い保育をずっとしてくださってたんです。

その質の高いというところを本当に勘違いしないで欲しいなと思っていて、今までたくさんの努力をしてきてくださっていて、市全体で同じレベルを、って言ってくださってると思うんですけども、わが子と、今会社員やってて、その世間とが違うなと思うのは、やっぱ南保育所って、すごい豊かな心を育ててくださったと思ってるんです。多様なこどもたちを同時に受入れて、ベテランの先生方が、地産地消の食事を作ってくださったりとか、地域にある何十の公園を回ってくださったりとか、他の親御さんもおっしゃってたように、親のことまで心を広く受け止めてくださっていて、本当に私自身も救われたところがたくさんありました。

今会社員やってるんですけども、仕事をしていても、南保育所の5歳児のほうがレベルが高いと思うことがたくさんあります。本当にたくさんあります。

なので、その質のレベルっていうところを、大学の先生とかアドバイザーとかにあづけずに、南保育所をきちんと1例として皆さんに学んでいただきたい。

こども自身の教育の質というのではなくて、育てる先生の質が本当に大事で、私本当に、南保育所で感動しながら、こどもを育ててきました。こどもたちに押し付けるわけではなく、こどもたちの自由を守りながら、必要なことだけをきちんとさせて伸び伸びと育ててくださってます。

もしかしたら学歴なんかには出てないかと思うんですけども、自分の学校や友達を見ていたら、本当にソウルのあるハートのあるこどもを育ててくださったと。いまだに誇りに思っています。

なので、保育の質というところは、学校で習ったとか、アドバイザーをやったとか、そういうことじゃなくて、地元を大事にする心を育てられるかっていうところがあると思うので、今、民間民間と進めてくださってますけども、もちろんそれにメリットがあるんだつたらいいと思ってきましたけれども、ちょっと今聞いてたら違うなと感じてしまいました。

他の市町村でもっと財力があって、市民が多くてっていうところだったら、好きにやってもどこかにまとまるところがあると思うんですけども。本当にこれ、私から言うのは申し訳ないですけど、人も少ないお金も少ない。

そしたらやっぱり人を大事にしないと、川西には戻ってこないと思います。地元を大事にする人を育てないと、土地をどんどん外国人に買われて、川西市はなくなってしまうと思います。なので南保育所で育ててくださっているこどもたちが川西市を大事にできるこどもに育っていってると思うので、南保育所、大事にしてもらいたいと思います。以上です。

(市民)

ちょっとね今いろいろ聞いてたけども、あなたたち、こども未来部の中で、何でおるの。何年やってるの、今の課に。

(副部長)

こども未来部は、副部長として参って2年目です。

(市民)

それであなたの表情を見てたら、みんなの表情見てたら今言わばっかしで、あなたが、ほんまにこの政策を考えてというのであれば、今の反論ができるはずや。もともと、これ表情見てたら、聞いてるだけや。

あなたの表情を聞いてると。そやからあんたらが本当に施策したんであれば、いやいやこんなんですよ、という、反論というか説明があつてしかるべきやと思う。

ただ聞いてるだけや。せやからここへ来たんは、私が一番聞きたいのは、今この説明会は、あなたたちは上の者からこういうふうに納得してこいと。言うて説明してこい、説明したでというふうに来てるのか。

それともこの意見を聞いて、今後、取り入れていこうとしてるのか、その辺を聞かせていただきたいね。まず。

(部長)

まず、決して、この場を形だけのものにしたいというような想いは、全くありません。

私自身、こどもたちの環境が変わるっていうことはすごく大きなことだと思いますので、実際に南保育所で、保育を受けられてる保護者の方から生の声で具体的にどういうところがご心配か、先ほどお金のこともありましたけれども。交通のこともありました。先生が変わるということもありました。

そういうことを持ち帰って、もちろん南保育所の先生たちにも相談しながら、どうしていくかっていうことは考えたいと思っています。

そもそもこの一体化っていうところの始まりが、課題として、公立施設がもう 40 年 50 年っていうふうにたつて非常に施設が老朽化しているっていうことがあります。南保育所もそうですし、久代幼稚園もそうです。

もう 50 年たっています。こうした公立施設が老朽化が進む中で、その対策をどうしていくかっていうことがまず 1 つ。

もう 1 つは、幼稚園の園児さんが少なくなってきていて、集団教育保育っていうのが、なかなか難しい状況になっているっていうこの 2 つが大きな課題だというふうに捉えています。この 2 つの課題に対応するために、可能な市立保育所と市立の幼稚園は一体化をして、幼保連携型認定こども園にするという方針をまず打ち出したのが、当初の計画でございます。

この中で、今、民間の施設が増えてきている。で民間と一緒に質を上げていかなきゃいけないっていうのが昨今の課題である中で、その質を高めるために拠点施設というものを位置付けて、取組を今後はしていかないといけないというところで、この民営化の話が出てきたという経緯になっています。

ですので、市立施設をすごく評価いただいていることは、市長も含めて非常にありがたく、それは職員の頑張りであるというふうに私たちも嬉しく思っているところですが、それが決して民間の施設の保育の質が決して劣るということではないというふうに思ってます。

民間の施設のすばらしいところも、そして市立施設の、すばらしいところ、お互いに風通しのよい環境を作りながら、学び合って高めていくっていう取組を、アドバイザーを配置して進めていきたいっていう思いで、今回の提案をさせていただいております。

もちろん保護者の皆様が、私のこどもがちょうどその移行期に当たる、先生変わるものにという、思いは本当にすごくそこは私自身も理解するところですので、そこに対してはできる限りのことをしていきたいというところで、皆さんのお話を聞きたいという思いでここに臨んでいます。

(市民)

これは提案やねんな。提案で決定じゃないわけね。

(部長)

資料の中で、第二期こども・若者未来計画に記載している内容をお示ししています。ここについては市の方針と

しては決定したもの、というふうにお考えいただきたいです。

(市民)

それを変えてほしいです。

(市民)

要は市の方針やけども、それをあなたたちは、せっかくみんなの声を聞いてるわけでしょう。

その声を、市長であろうが今、市長、独断でやってるみたいやけども、市長であろうが何であればそれはいえるの？それを言うていけるの？

(部長)

本日、皆様からいただいたご意見、そしてこの場の雰囲気も含めて、もちろん市長・副市長にはしっかりと、報告をして、私たちとしても、市としてどういう対応ができるのかというところは考えていきたいと思います。

(市民)

そしたら今まで言うてた中で、非常に反対してるので、1個も計画が出てへんやないのと。

たぶん、パブリックコメントの中で、言うたやつもあるけども、そういうのが反映されてないというのはどういうことなの。今日の言ったことも反映されるの？

(部長)

パブリックコメント、いろいろなご意見をいただきます。

このいろいろなご意見を受け止めた上で、市として、最終判断をするという認識でございます。

(市民)

パブリックコメントゆうたってこれ13人ほどしか来てなかつたんでしょう。タウンミーティングが。それが13人ほど来ている中でそれが決定事項、意見を聞いたといえる？保育所や地域の皆様の意見を聞いてと言われたけども、地域の皆さんって誰を指してるの？

(部長)

私達がお世話になってるのは、保護者の皆さん、そして自治会やコミュニティや住民の皆さんすべてだと思ってます。

(住民)

それが地域やろ。地域というてはるねんね。

そしたら今までこれを決定するときに、今ちょっと意見も出たけども、コミュニティやらここら南部協といいうのがあって、それにはいっこも声がかかってへんとはどういうことなの？それ地域に知られたといえる？答えて。あなた達いつも聞いてばっかりだけど答えてよ。それどう思うの。

(部長)

確かに南部協の皆さんにお聞きしたということはないと思います。

(市民)

いや知ってるけども。彼もゆうたけど、コミュニティも説明ないし我々も自治会長やってるけど、知らんって言うてるやん、これ地域に知らしたことになるの？それで決定してるの？パブリックの意見を聞いてということも、その辺はどう思う？それも答えられへんような中でこんな計画を、保護者の皆さんに決定しましたいうこと自体がおかしいでしょう。

あなたたち未来のことを考えてこども未来と言って計画を考えて書いてあんねん、作ってんねんやろ。

それで作成したのはあなたたちでしょ、行政のもんでしょう。それがそれもわからんというのは非常におかしいと思うよ。

これ、あなたたちは一番思うのはこの久代地域はどういう地域だと思ってる？歴史、知ってるの？

それもなしに計画を立てていってんの？こども園に移転をさすとか。それ知ってる？部長1回答えてよ。それも答えられへんようでは話にならん。そこで知ってるもんおらないの？地域の実情とか地域はどういうとこやとか。

(副部長)

久代小地域の地域別の構想といいますか、コミュニティで作られたありたい姿というものがあります。

その中では「心豊かな明るいまち、久代」ということを掲げて取り組まれていると認識しております。

(市民)

違う。いやいやそれは全然違う。

それはあんたたちは、この久代のあそこの拠点、南保育所と久代幼稚園を移すという発想を持つてるらしいけども、その根本が全然違う。あなたたちそんなこと知らんと久代幼稚園と南保育園をなくして、新しい土地が出来てそこへ移そうとしてるわけ？この地域の住民とかコミュニティの人を大事に、そういう地域の人やと思いますつて言うたやん。この地域と久代ってどういうところやと思う？それもわからんと、こんな計画をどんどん進めていくということは、久代に対して非常にこの政策が出来てない。

ほんまにもっと真剣に考えてるんやったら、その表情からしてもっときちっと答えられるはずよ。

この久代の地域というのは、ああいう、悪いけどちょっと知らんから教えるけど、幼稚園は多分38年ぐらいに出来てる。

それで、44年から、ここヘジェット機の音がうるさくて昭和44年から59年まで15年間、長い闘争の中で、国を相手取って初めて騒音訴訟を起こした地域や。それで最高裁まで行ってそれで和解をした地域や。

その拠点がいわゆる南保育所とこどもたちの地域の宝であることの居場所である南保育所であり、久代幼稚園や。

それはあんたが勝手に言ったからそういうことで言うんじやなしに、そういう歴史があるわけや。今でも南部協は、年2回、毎年、国に昔の地域を戻せと。住みやすいまちにせいという話が出てきた中で、この中で、飛行機の空き地が、どのぐらいあると思ってるの。それも調べてるの。そんな計画の場所やってるの。何件、どのぐらいの地域があるの。

(部長)

すいませんちょっと不勉強で、そこは存じておりません。

(市民)

そやろ。そういうこともわかってへんかって何でこどもがこんだけ増えてくるというのか分かるの。この空き地というのは 260 ぐらいあるんや、ということはここはもうじき売り出すけど、200 何名が新しい土地に入ってくるわけ。

それを今、1 つの拠点として、やっと目処が立ったときに、こどもたちとか久代の拠点であるこどもの居場所である南保育所とかを民間に委託させて、場所を移そうかという安易な考えで、久代の地域はちょっと特殊で違うんや、違う。南部とか北部と書いてあるけど、ここはなんやの。南南部や。南南部はどないなんの。縦に細長い川西で、北部、中部、南部で分けるのは非常に少ない。出来ない。空き地がなんぼあるかもわからへんし。地域の状況もわからん。失礼な言い方やけど、あなたたちとても真剣に考えてるとは思えない。これもう1 回、市長が考え直す気はあるの。こういう話に、皆ほとんど反対。じゃあ、目的がありきでなしにこんだけ 1 からもっぺん考えて市長に提言できるの。

(部長)

今日出たご意見についてはもちろんお伝えしますけれども、市の方針として挙げている内容について、今、変えるというような考えはございません。

(市民)

廃園にする考えはあるわけですか。

(部長)

繰り返しになりますが今の段階では、もう計画に示している内容、この内容で進めていきたいという考えです。

(市民)

おかしいんちやう。

要は、南保育所とか幼稚園という設置条項や、この設置条項は、市議会議員ももちろんおる。

もう市議会議員の反対なしに、賛成がなしに、あなたがた計画ですと言えるか。

議会軽視と違うかそれは。

そんなこといえるのか。

(部長)

もちろん、幼稚園、保育所の閉園にあたっては条例の改正が必要です。

議会の議決が当然必要になることは認識しております。

(市民)

認知してるので、承知してるので何でそれが決定ですというのをいえるの。

(部長)

閉園が決定してることではなく、市の方針として計画に掲げていることについては変更しないという考え方でございます。

(市民)

市の方針を言うしていくねんからこんだけのパブリックコメント現場に出てきて、聞いてないから、市の方針を。それに未来こども部なんか知らんけども、納得しているわけ?それは違うねということはいえるの?

市の方針があつて市民があるのか。

市民があつて市政行政を進めていくのか、どっちだと思う。

(部長)

もちろん市民の皆様のために市政があります。

(市民)

そしたら市民のためがあつて行政があるんであれば、こんだけの反対があるのに、何でそれが決定する方針ですといえるの。いやいやそれは考え直してもう1回やりますよというような答弁でここで言うべきや。もう1回話合いますと。それで何でコミュニティに何の説明もなしに、地域に説明してるというのも、その辺の考え方を教えて。黙ってないで教えて。説明できるんでしょう、答弁できるでしょう。さっきから聞いた意見をバーッと聞くばつかしやんか。

あなたも、市民があつて行政があるんすいんであれば、こんだけの反対意見があつて、それをどう変えていこうとしてるの。それが答えられへんの?そういうことも出来へんのに何でこんな説明会を開くんか。これ話聞いただけで反映されるんでしょう。されていくのか。

それはこの土地というのは、要は、場所があそこがええからという話ではないよ、久代の地域性があつて、あそこは、基本的にはこどもの居場所、こどもを育てる拠点ですよ。

それを移していこうということ自体は、非常にこの地域を、あまり知らないというか、今後どうなっているかという、考えてというのは、いかがなものかと思うけども、その辺は今聞いてどう思います。個人意見を。

(副部長)

地域のことをあまり知らないっていうところに関しては、不勉強な点はあるかとは思います。その場所なんですが、当然このまちづくりというものは、あるとは思います。ただ、市のほうでまずは、市が所有している土地の中で、保育所、こども園が整備出来そうな場所をこの近くで、久代小地区の中で検討して、その結果として、久代団地の跡地が整備が可能ではないかという考え方で、あの場所にさせていただいたところです。

ですので、申し訳ないんですけど、地域づくりも大切かと思うんですが、施設をどこで整備するかという観点でいうと、市が所有する土地の中で検討した結果というお答えになります。

(市民)

市が所有してる土地は今やってる南の保育所、幼稚園も市が保有してるで。市は、これは工事がうるさいからできひんとか、できひん方向で言つてたけども、やろうと思ったらすぐできるで。

壊して騒音があつてその間勉強ができひんとか言つてたけど、今の技術があつたら、1ヶ月でそれは綺麗に更地になるで。要は、幼稚園が少ないので幼稚園をちょっと移して、南保育所を建てる。これ南保育所を建ててそこの統合したら、今度は南保育所を潰していく。やる気があれば、そういうことは何ぼでもできる。

それあんたじややる気もないし、そこが更地やからええんやつていうのは、久代地域のまちづくりというのを考えてない。まちづくりって言つてたけど、何が加茂のむこうがわがまちづくりなの。

久代の拠点というのは、真ん中というのは今の幼稚園や。38年間。これは小学校が上にもあるし、一番環境が

いいのに、やっと皆さんが戻ってくるというのに、子どもの拠点を向こうへ移していくの。

跡地ができたし、住民が出て行ったんと同じように、今度市がそれを取って出ていくってどういうことや。

(副部長)

工事期間中の騒音についても今日ご説明をさせていただきました。

まずそれについても、それぐらいそこは大丈夫じゃないかというご意見かとは思います。

ただそこは、いろいろなご意見もあるのかなと思います。私たちとしては、今の場所での建て替えは、子どもたちにとっての環境も含めて、よくないという考えであります。

(市民)

騒音問題でいいたら、今加茂小学校の川西高校は大きな工事をされながら、子ども園が横にあるけど問題にならなかつた。そう言い出したらあらゆる工事ができない。

(市民)

音がどうのこうのというよりも、さっきも言われたように、コミュニティ自体がそれを把握して、各自治会に通達して話をしたんなら分かるけど、そんな話何もしてへん。音がうるさいから困るとか誰か言ってきたか。

あのねコミュニティを軽視してるよね。久代のコミュニティは、久代全体の一番の大きな組織でしょ。自治会があるわけですよ。何も子どもたちだけじゃなくて、みんなが関わってくる問題ですよ。勝手に審議とかへつたら、さっきも言うように向こうに作りたいありきで話をしてあるようにしか聞こえへん。

我々久代のもんがあそこにもし建てかえてくれるんやったら、騒音が多少あろうと何だろうと。その地域の皆さんにもご協力やら、ちゃんとお願いに上がりますよ、コミュニティとして。そんなもん問題あらへん。

それに久代団地は私も家の近くなんだけど、坂上がってまた坂やで。しかも中学生はぞろぞろ歩いてくる。そこへ最近の電動自転車なんかではぱあっと坂をおりてきたり、そんなもん、自転車の中学生とけがが起きたりとか、いろんな問題がまだ出てくる。どこがええ土地やねん。ただ空いた土地なだけやん。市が持ったて土地を潰して空けただけの土地、それに下池や中池があって、あれどうすんの。あれの内容によってはもっと車の行き来が増える。

万が一、今、決まってるかどうか知らんけども、あそこに、要するにまた運送関係のそういう倉庫をつくれば、もう久代なんかトラックだらけよ。あっちもこっちも倉庫や。10トントラック走るわ。2トントラック走るわ。4トントラック走るわ。そんな中であそこの道で、本当に子どもの安全に母親が、送り迎えできるの。それを考えただけでもあれやし。

(市民)

駐車場、駐輪場も開いてないじゃないですか。何か勝手に有料化されて、定期も買えないし。

(市民)

やっぱり保護者は子どもたちの送り迎えもせなあかん。働かなあかん。国としても女性も働きなさいよみたいなね。また働く生活できひんのが、いま日本の内情や。そんな中でね、保護者が安心しててつとり早く、利便性よく、子どもたちを送って、会社に行って、また帰ってきてすぐ子どもたちをまた迎えに行ける。非常にスムーズにできるようなことも考えてもらわなあかん。

それをあそこ空いているから決めましたみたいな、あなた方はせえへんからええやん。それにさっきも言われた

ように、久代は違うのよ。これからまた発展させようとしてまたコミュニティも、若い人たちやら、我々高齢者のもんが1つになってね、防災やいろんなことを一生懸命考えてるわけ。でもそれを考えても、今のようにこんなね、問題をどんどんどんどん作られたら、我々コミュニティとしては、そういう若い人たちと一緒ににはやっていかれへんようになる。我々が考えてへんと思われる。

今こんだけ若い人が、これだけの大勢の人がね、まだほんまは少ないよ、会社で来られない人いっぱいおるわけよ。ほんとはもっと来たいけど、こられへん、いっぱいになるぐらいの話をきいてるよ。そんなたくさん若い人たちがこんなこと一生懸命やってる。コミュニティ、我々、この地域を任せ、市と連携してやってるコミュニティが、知らんかったって、なるんよ。おかしい。それで、ここまで決まりました、話しました、コミュニティとも話しました。それってちょっと違うんちゃう。だから根本的に、初めからやる政策のやり方が違うんよ。こっちからしたら。これを進めるんやったらもっと地道にちゃんと計画して欲しいな。初めにこういう意見をもっとしっかりと聞くべき。これはもう絶対市としてはもう変えられません。市長がもう変える意向はないんでしょう、ほとんど。それは皆さんに言うたところで、変えられへんのやったらこんな時間無駄やんか。何とかそこを、市長のほうにしっかりと届けて欲しい。その意見を届けてくれるん？届けてくれるん？

(市民)

今日はなぜ市長さんは来なかつたんですか？前回はきてくれましたよね。

(部長)

はい。前回はタウンミーティングという形で、当初から市長と教育長と参加者の皆さんとの対話という前提で会を持たせていただきました。今回は市の担当部局からの説明会ということですので、本日、担当者のみで参らせていただいたということです。ただここで承った意見、皆さんの表情も含めて、しっかりと市長のほうにはもちろん伝えます。それはお約束します。

(市民)

伝えるだけなんですか？タウンミーティングしてください。次のアクションを教えて欲しいです。私3月にも参加させていただいたんですけど、その時から全然何も進展もないし、まとめていただいているものも「やっていきたいと思います。わかりました。」みたいな内容ばかりで、アンサーって結局いただけでないのかなと思っています。

先ほどから、地域の方とか、当事者の方とかいろいろ言つてるように、何の進展もしてないし、この時間ってすごい、子どもいる家庭ってすごい忙しい時間なんですよ。うちの家なんかは今もう寝かしつけしないといけない時間だし、そういうことをわかって今日を迎えて開いていただけますか。いや、うんうんじゃなくて、どう？

(副部長)

今日のご都合というか、時間帯に対して、難しいというご意見であれば、参加しやすい、どの時間帯がいいのかお聞きできれば、もう一度検討させていただきたいと思います。

(市民)

「ありがとうございます。ただ、ご意見を伝えます」は正直困るかなと思っていて。先ほどからお伝えしていたように、子ども未来部として今後どういう風に動かれる予定ですか、というのをお聞きしてください。

多分その答え今まで、いただいてなかつたと思って。

(副部長)

今の段階では、繰り返しになりますが、この未来計画の中で、示した内容に従って、事業を進めていきたいと考えております。

(市民)

計画に従ってではなしに、この計画を白紙に戻せとやうてるねん。どう?いや、それは出来ませんというのはおかしいやろという、市民があつての行政やろ。それを言うてやうてるねん。要は、言うたらもう、今の考えはおかしいやろうと。

地域住民の方が白紙に戻してもう1回、考えなおせよ、これもあなたでしょう。この場所は持たない、久代の地域の中心はどこや。何でみんな加茂の方の北のほうに持っていくかなあかんの。ここは拠点やで。

それを地域も歩いてない、なんぼ愛着があるというのを知らないという、これが何人入ってるか、フェンスで囲まれた空地がなんぼあるかもしらん。何件あるかもしらない。いや、そういう歴史もしらん。それでよく計画をしたなあ。それはそういうことで怒られた。白紙にもどせと言われてる。何も、計画ありきです、計画倒れの市なんぼでもあるわ。だから計画なんてあてにならんからな。あなたが言うたように、住民の意見を聞いてというのが住民があつて、行政であるならば住民の意見を聞いて、もう1回再考するべきですよ。考え方直すべきやと保護者も言つてゐるわけよ。

預けたらいいと。募集要項みたら、もう10年で廃止しますとか、どうしますか?言うたら保護者迷つて、よそにいこうとなろうとするで。それだけしけけ一へんのはおかしいやろ。それを先にしていくというのも非常におかしい。それを預かったのに、どないなんていう意見も出てるわけ。そんなもう、潰すのありきで、あなた達は申込みなさいよ、というような要項出してたら、それはちょっとおかしい。そやからもう1回考え方直してもらわな。今日は説明会だけやなしに、そういう話がいっぱい出たということを言うといて。

(部長)

今日の場で、この計画自体を一旦立ち止まって考え方直すようにとのご意見が出たことはもちろんしっかりと受け止めて持ち帰りたいと思います。

その中で、今日お聞きしたご意見の中でも、市としてできることがないか、もう一度考えて、次回お答えできるものについてはできるだけお答えを返せるような状態にして、お返事したいと思います。

(市民)

教育長もこの辺の出や。教育長にも言うといて。久代の状況一番よう知ってるやろ。市長も一番ようしってるはずや。何でそこ。何で加茂、ちょっと行ったら加茂幼稚園ある。久代3丁目やけども、ちょっといつたら加茂やで。

それを何でこんなこっちがどんだけ人口があつて、川西、高芝とか摂代とかいろいろあるけれども、この中心地やからね、あなたたちはもう1回歩いて、いや、これはちょっと違うなという。把握してもらわなあかんわ。

だからこういう計画をつくるんやつたら、その地域に入つてもらわなあかん。こどもの未来のためにもね。まちづくりのために、その位しっかり考えてもらわんと、行政は成り立たない。

よろしく。

(市民)

いいですか。こども未来部のトップとして来ていただいてるんじやいですか。

今日こんだけ話が出た上で、実際に、どう受け止めてはるのかを率直に聞きたいんですけど。

(部長)

まず久代の大きなまちづくりの観点からのご指摘については確かに勉強しないといけないところだし、我々ももっと地元に入って、知らないといけないなというような思いを抱きました。

保護者の方からいただいたご意見については、1つ1つが本当に切実なもので、我々としてもこの計画を進める前提であってもやはり、できることが何かというのはもう一度戻って、先ほども言いましたけども保育所の職員にも相談しながら、どういうやり方をするのがいいのか改めて考えたい、その2点は思ったところです。

(市民)

計画に基づいてとおっしゃいましたけど、今こんだけ言ってて、白紙に戻せ、であったりとかっていう意見が出てる中で、そこについては、どう思うんですか。

(部長)

今の段階で、私のほうから「この計画を白紙に戻します」というようなことをいえる立場にはございません。それはなぜかというと、この計画は市が最終方針として出したものでありますけれども、子ども・若者未来会議という、いわゆる審議会の場からの審議、意見をもらって、作ったものですし、策定の過程にはパブリックコメントもして、そういう手続きを踏まえて、策定をした計画ですので、ここで、こども未来部として担当部としてこの計画を見直します、というようなことを簡単にいえるものではないと考えています。

(市民)

そして、もう一つゆうとくわ。あなた、お金のことを言ってたけども、これ非常に、お金のこと言ってたけども、燃料譲与税といって、あなたも知ってるやろうけれども、5億か6億は毎年入ってるよ。これは地域のために使ってくださいというのを、あなたらは一般財源の中に入れて。これは市長にゆうたけれども。

一般財源で使って、けやきの道とか作ったりしてるから。そんなもんじやない。

これこそ、今のことこそ、それを、久代のために使うべき。お金のことだ、って言うてたけども、金がこんなにかかるとか。年間5億か6億が入ってるねんで。この地域のために。川西市に入ってるけど、一般財源に入ってるけど、そこを覚えとかないかんし、もう1つあるのは、あなたら、歩いてへんから知らんって言うけども、ここには緑地帯というのがあったんや、或いは空いてる。それをただでもらった。いわゆる30億円。大塩市長の時にこれいらん、言うたけど、何を言うてんねん、これもろとけ。草刈りせなあかんから要らんというたけど、もろとけ、将来財源になると。

そして、これ地域のために使ってとゆうて、国から交渉してもらった空地があるんや。それを使うべきや。それをどっかで使おうとしてるのかしらんけど、許さへんで。だからそのお金は、緑地帯というのはこっちがもらって、それは国からこの辺のために使って、ゆうて出たお金や。出たというか土地や。

それを売ったらこのぐらいのお金はすぐ出る。それを市長に言うといったって。百も承知やろ。

緑地帯いうのしらんやろ？国がくれた空いた土地。5,000平米ぐらいあるねん。売ったらもう何十億になるねん。それを使うべきや。金がないというんやったら、1億なんぼ足らんとかいうてるけど、そんなんすぐ出るわ。それ教えとくわ。

それをあんたらが知ってて、話するときに、未来部として、いや、こどものために、久代のためにはこういうのが必要ですよというのを、今意見を聞いた中で材料として言うたり。それだけ言っておきます。

(市民)

公立で残そうと思ったら何ばでもやりようがある。

(市民)

やることさえ考えたら、何とでも捻出出来るはずや。一生懸命働いてる人がやったら、我々よりも、頭脳明晰だろうから、ねえ、ちゃんとそういうことを捻出しようと思ったら、何ばでもできるはず。下手なことやつたら格下げになつたりね。とにかく市のやり方、結局、うまいこといへんかったら、何か減点方式みたいな感じ。そういうふうなものがまだあるの？川西市？

最初、昔は、何かあって減点方式で、何かこう、うまいこと言われたから減点されて、減点されたら上に上がつていかないとかいろいろなことがあったんやけど、今はそんなないんでしょう。まだ残ってるの。川西市は？とにかく、皆さんが、こういうふうに、久代のほとんど多分、今日来てはらへん人もいっぱいいるし、今の保護者のまず意見、気持ち考えて、またこれからこどもたちのことを考えた上で、一緒になって、皆さんがあつていただけるんだったら、我々のほうでも応援します。何ばでも後押し。何とかね。皆さんの気持ちを酌んで、市長とやり合つてほしい。

(市民)

先ほど、次回回答させていただきます。っておっしゃっていたけど、その次回がいつなのか、これだけこども達の大事な時間を犠牲にして集まっているので、この大事な時間が無駄じやなかつたんだなという報告も受けたいですし、いつごろを考えてくださっているのか教えてほしいです。

(部長)

できるだけ日を置かずに、またこういう機会を持ちたいというふうに思いますが、先ほども今日の時間が、ご都合が悪い保護者の方もたくさんいらっしゃるっていうことでしたので、できるだけ多くの皆さんのが参加できる日程で、保育所等の調整をしたいと思います。

(市民)

年内とかですか

(部長)

はい。年内にはもちろんしたいと思います。

(市民)

事前に事業者を募集する公募する、それをする前に、なし崩し的に公募になるような、そういうことだけはならないようにしてほしい。

(部長)

わかりました、なし崩しに公募が始まったっていうふうにならないように、皆さんのがお感じにならないように、しっかりとそこは説明を尽くしたいと思います。

(市民)

先生たちがチラシを配ってくださって本当に寒いなか配ってくださって、これもまた先生方の負担になつてゐる。

(市民)

前にだつてホームページでやりますってかいただけで保護者や先生など周りに気づかない人たくさんいるんですよ。全然来れない時間だし。だから次の説明会はどうやって通知していただけるんですか。

(副部長)

基本的に園所を通じるのが保護者の皆様には伝わりやすいと思いますのでそうなると思います。

(市民)

今地域からそういう意見で、それはどういうふうに伝えいただけるんですか

(副部長)

地域の団体のみなさんにご案内をさせていただきます。

(市民)

さっきから保護者の意見を受け止めてくださるとは言ってくださってるんですけど。こどもたちの気持ちって本当に0なんですかね。信頼した先生から急に変わることの気持ちって。でもここにこども来れないじゃないですか。文句も言えないじゃないですか。

保育って0からの繋がりなんで、これ先生たちはこどもと信頼関係を築くために本当に一生懸命してくださつてのにそれが急になくなる。こどもたちの気持ちも考えて欲しいと思います。民間さんが悪いわけではないんですけど、運営していく中で園児を集めないといけない。そうするといろんな体操教室や英語教室などいろいろなことをさせていかないと園児が集まらなかつたりする。そしたらやっぱりそれについていけない。のびのびと過ごせることがこどもたちに本当にいいので、こどもの声をきいてほしいです。こどもは何も言えないのでお願ひします。

(市民)

下の子が年長の時に新しい園に変わるということで、入所日に直接なんの説明もなく文書だけで送らせてもらつたって対応されたっていうのは、親としてはすごい不誠実だなと思います。今ちゃんとこどものためについててはるんですけど、どのこどもなんだろう。今在籍してることもなのか、今後入ってくる子なのかどうでもいいのかなって感じる。今いるこどもたちのためにどんなふうに今後していくのかという説明がないとこちらとしては不安だなと。赤組の子が年長になるときで、入所時に知らなかつたのいうことで、契約不履行になるのではないかと思う。それに対しての対応はきちんとしていただけるんでしょうか。

(副部長)

仮に民間のこども園に5歳から移つてもならないといけないことになつたら、当然こどもには場所も変わるので影響もあるかと思うんですが、どのようにすれば、そこが、少しでも和らげれるのかというのは、民間法人に任せるという意味ではなく相手と話をし、もちろん、市も入つて民間法人とスムーズに移行できるのかは協議をしたいと思っています。

(市民)

難しいと思います。民間の人とするのは。

(市民)

リミットもある中で協議していくってできるんですか？決まるのが令和8年の何月か知らないんですけどそしたら工事入っている時に。令和10年になくしますって、1年ちょっとしか話す機会がないのになんでそういうことができるのかわからない。

(部長)

他の自治体の例などを見ていますと、基本的に南保育所の保育、さきほども言っていたように0歳から5歳までの連続性がありますので、そこをしっかりと保ってもらうためには、民間の保育士さんや施設長などの予定の方に川西南保育所の保育をしっかりみていただく、こどもたちの様子をみていただくことが必要になってくるのではないかと思っております。それについては2年間の中でできると考えていますし、やらなくてはいけないと考えています。

(市民)

変わるものってこどもですよね。あなたたちがやらなくちゃいけないではなくて、こどもが1年とかでどうやって変わるとかなんで分かるんですか。絶対分からないじゃありませんか。どういうことをやっていくかも決まっていな。今から協議していきます。

(部長)

やはり気になるのは子どもの担任の先生や保育をする保育者だと思うので、保育者間でどのような連携をするのかが、お子様にとって1番大切なことだと思います。

(市民)

今、保育者同士で連携を図っていくということだったんですけど、民間って、保育士さんの力もあると思うんですけど、まずは、経営者の力が大きいと思うんです。なので、保育士さん同士がいくら連携したからって経営者がだめだよといったら叶わないと思うんですけどそのあたりはどうお考えですか。

さつきもそういう話題が出たと思うんですけど、民間と連携してというお答えだったなと思うが、そのあたり市として何かされるご予定ありますか。

(部長)

まずおっしゃるとおり、保育施設の運営っていうのは、経営者であったり法人本部の考えっていうのは大きいところもあると思います。

その法人の理念に基づいて、保育士さんというのは保育に当たられていると思います。

そこはそれこそ法人を公募して選定をするときにどのような選定基準で、質の高い保育を提供いただける法人を、選定するのかというのが

(市民)

質の高い保育ってどんなんですか。

(教育推進部)

私たちは、今こども主体の教育保育ということを市として目指してやっております。

民間の施設長の方たちにも、この川西市が目指していく、この教育保育の方向性というものを、しっかりと認識していただくために、年4回合同施設長会議を行っておりますし、その中でしっかりと、公立の園所の所長や園長も一緒に、グループ協議などをさせていただいて、この理念になるべく近づいていってもらうように努力をしていくところです。

なかなかそれぞれ民間の園所は、特色持ってやっておられるところが多いので、また言ってすぐに変わっていくものではないとは思うんですが、こちらが目指すことは、しっかりと訴え続けて、いろんな講師の先生も呼びながら、本当にここに近づけていけるようになっていうことで、協議をしています。

(市民)

それをするよりも、公立の園を残したほうが、川西市全体の保育の水準が高いまま、なんじやないんですか。

(教育推進部)

公立の保育教育保育をすごく見ていただいて本当にありがたいなっていうふうに思っております。

ただ公立の園所だけでこどもたちを見ていく人数は限られていますので、市全体として、

(市民)

でしたら、新しいこども園は民間で作って、南保育所として残すというのではないんですか。人数をふやすということであれば、南保育所を潰して新しい園をつくっても、人数そんなに増えない。

(副部長)

一体化するときの定員設定については、その時の待機児童ですかそういった状況を見ながら、こちらのほうで、条件をつけたいなと思っております。

(市民)

狭いところに詰め込んだりとかしないのですかね

(副部長)

その施設の運営として、可能な範囲でということで、定員設定をしたいなと思います。

(市民)

今日2時間半越えで話をしていただいたが、私は3人のこどもがいて、南保育所に通っていて、上二人のこどもは南保育所がなくなるかもしれないという話は、しっかりと理解して、どうしてなくなるのというのも聞かれるんですけど、親からも、川西市にお金がないからとしか答えてあげられない。これだと、こどもたちは全く、納得出来ないと思う。今日は納得できる答えをいただけるのかなと思ったんですけど、全く同じ説明しかこどもたちに出来ないと感じます。

(副部長)

なかなか納得いただけるような説明が出来なかつたということですが、結局、お金がないからというかですね。公立と民間の役割をしっかり分担をして、就学前の施設を運営していきたい。そういう思いでございます。

(市民)

どうして公立を潰すんですか。

(副部長)

拠点施設という考え方にはなつてしまふんですが、こちらに説明させていただいたような、公立の役割として、拠点施設をしっかり運営をして、民間も含めて、それぞれのエリアで、しっかりと教育、保育が提供できるように取り組んでいくというのを、公立の役割と、こういうふうに考えております。

(市民)

久代には拠点エリアはいらんということですか

(副部長)

ここで3つ、南部中部北部という地域に、分けております。久代が要らないというか南部の中で、加茂こども園など先行して取り組んで実施運営している2つのこども園を拠点施設と位置付けたと。それぞれ南部中部北部で2つもしくは1つを拠点施設として位置付けたということです。

(市民)

なんば説明していただいても納得できない。やっぱりどつかおかしい、計画も決め方もおかしいと思う。これだけ皆さん反対する人がいてるのに、立ち止まって考え直して欲しい。計画自体はおかしいと思います。

全然子どものためになるような計画にはなつてない。子どものためにならへんということは、育てていく親にとても辛いことだし、それはやっぱり市としても、この計画が本当にいいのかっていうことを考えなおしてほしい。

(市民)

今まで知らなかつた。全然話がまとまつなくて、決まつてなくて納得してない中、保護者に個別に書類を配達してすぐしますっていうことを言つてしまつたことつていうことにすごく憤りを感じていて、どれだけの家族がどれだけのこどもたちや子どもの親、またその親、たくさんの人々に影響を与えててしまつているということを重く受け止めもらいたい。

(市民)

他のお母さんからも意見があつて、一応聞いておきたいなと思ってることが。建てかえの場所ですね、場所はもう決定なのでしょうか。駅の近くとかに変更出来ないんでしょうかつていうのは、再検討みたいな感じで。私これ、最初のほうのここで行われた説明会でも言つていて。私、東久代に住んでるんですけど、児童センターとか、下の子を抱っこひもに入れて上の子をベビーカーを押していったりして、雨の日も風の日も、夏の暑い日も寒い日も行ったことあるんですけど、とてもじゃないけど毎日通えるような坂じゃないんですよね。皆さん多分住んでいる人なら分かると思うんですけど。

そこの南保育所の坂から登っても、途中の坂がもうこんなベビーカーともこんな感じで押さないといけなかつたりとか、自転車で押すのもきついですし、横のガソリンスタンドの角を曲がっていくにしても、こどもを連れていくのに横断歩道と信号2個増えるって結構な大変なことなんですよね。わからないんですかねそれ。

大回りして向こうの坂をずっと登っていってようやく上の楽天とかあるところまでいくんです。その細い道も一切触れられてなくって、すごい坂なんですね。道もすごい、細くて、歩道もほとんどなくて、歩道の真ん中に電柱を建てたりとかして、そこをベビーカーで段差があって、段差をガタンと車道におりながら通ったりしないといけない道なんですけど。そのことは把握されてるのかな。

1回、自転車なり、ベビーカーで歩いてみてくださいっていうのは前にも言ったことあるんですけど。多分言うと、今回、赤組さんの方は多分、今ままの計画に行ったらこの新しいところに行くと思うんですけど、多分通えなくなってくる人が出てくるし、私やったら通えないですね。

もう毎日それこそ児童センターに行くことを山登りって言ってたんで。小一時間かかります。こどもがベビーカーをおりたいって言ったり、自転車乗ってくれない、泣く、45分ぐらいあつたら、ありえることなので、そんなこと朝の1時間、夜の1時間するんですか。それやつたら違うとこ行くかなって思うんですよね。

で、駅からも遠くなるし、何か悲しいことに、この地図も、私の家全然写ってなくて、駅とかも全然写ってないんですけど、結構、住んでる人の家全然写っていないんじゃないですかね。

なので、どの辺の地域の人が今南保育所に通ってるであるとか、それからここに移設した場合に、誰が通うことを想定して。横の道だけは整備するって書いてあるんですけど、横の道よりガソリンスタンド回ったところのほうが危なくなっちゃって。

何か住んでる人いたら申し訳ないんですけどなんかゴミ置きもなくて、道路にネットだけ置いてあってごみがポンと置いてあつたり、生ごみの日には、それをカラスがあさって、生ごみの上を通らないといけないとか、そういうものもあるんですけど。そういうのも、どれぐらい把握されてるのかと。

新しく作ってくださった資料に、ケチつけるのも申し訳ないんですけど、移転で、仮設園舎が不要なため、在園児への影響が少ないと、この1点だけ？

で、提案事項の2点書いてくださってるんですけど、一体これは誰がこの移転の提案を出したのかなあと。専門家の方とか、言われてたと思うんですけども、検討、本当にしたんですか。今通っている人も、この位置、地元に住んでて道知ってる人なら納得しないと思うし、全員が全員赤組さんであつたりとか、こっちどうぞって言われても、通えなくなる方も出てくると思うので、その辺どう考えてらっしゃるか。私は紅組にこどもはいないのであれなんですけど。そう不安に思っている保護者さんがいるので、それに関して、返答が欲しいと思っている。あとは、さっきから、入所保留児のデータがずっと出てたんですけど、気になったのですが、公立に入りたい人と私立に入りたい人の、内訳とかってわからないのでしょうか。公立に入りたくて待ってる人が結構いるんだったら、ただただ私立の保育所をふやしてもしょうがないんじゃないかなって。

私は今ちょっと妊娠しているので、来年ぐらいに保育所に入れたい子ができると思うんですけど。いくら私立に入れるって言われても、上の子は公立に行ってるんで、入れてあげたいっていう思うので、なんぼ、私立なら入れますよ、って言われても入所保留児になって、解消されなくなると思いますし、今この状態やつたら、私立に入りたくないって保留する人が増えると思うんで、減らないって思ったんです。

一番は、3人目さんがいらっしゃる方っていう、お話があったんですけど、うちも、3人目なんんですけども、もう今年で卒園しちゃうんで、南保育所に一緒にいるには入れないんですけども、やっぱり上下の繋がりとか、家族間でも同じ保育所の繋がりとかはできると思ってたので、そういうのもなくなりますし、他の保育所に通わせるつになつたら多分知らないお母さんとまた1から交流しないといけないです。先ほどは園が変わつたら、保育者、保育所同士の連携してっていうことは言われてたんですけど、そこだけじゃなくて、保護者と、保育所さんの繋がり

りもありますし、その辺のただただ保育者同士が連携してからってこどもって育てられないと思って。

難しくないかなというふうに思います。

拠点施設の配置は、23施設に2拠点と書いてあり、大体、10施設に1拠点ぐらいを考えられてるんだと思うんですけど。今のところ実績ないんですよね、それで足りるのかね、実績がないのに、南保育所が入ってないのもおかしいなって思っています。以上です。

(副部長)

ご意見ありがとうございます。

整備場所がこの場所で変わる予定がないのかというところなんですが、もちろんこの久代小地区にいろいろ、空いている土地もあるかもしれないんですけども、市のほうで、整備する土地としては、まず市の所有してある公共用地での整備を考えます。しかも建て替えではなく、別の場所に建てるという意味では、久代団地跡地が整備予定地ということになります。

(市民)

地域の人の話なんで、ちょっと1回勉強してきますって。あのね、こどももまだ待ってるんですよ、もう9時ね、ほんまならもう寝てる時間です。もう皆さんそんなん、暇じゃないんで、もうぼちぼち締めに入つていって欲しいなというところなんですけど。

もう1回そのお話をおかわりされたらね、こっちももう終われないんですよ。何回も何回もおんなじ話して、地域の人もそういう地域性どう思ってるんやとかいう話で勉強不足ですっていうのもあってね。でもここが川西の土地だからここで決めたんです。じゃなくって、1回ね、人として、立場もあると思います。もちろんね勤めてはるっていうところでお役所さんで、いろんな立場もあると思いますけど、やっぱりこう、いち人と人として、これだけ悩みを抱えて思いを持って、来てはるっていう人の気持ちを受け止めて、それで、いや、この計画はどうでしょうねっていうことを伝えてもらいたいんですよ。私たちは。何回も何回も反対して、それで結局、いやもうこれで決まってます、って言われてももうほんまこれあと何時間やってもう一緒に話になってくるんですね。

(部長)

今ご質問を受けた中で何点か。実際に令和10年度に影響を受けられる、お子さんの保護者の方が通えるのかというようなご心配のご意見が1点ありました。

また入所保留児が、公立と民間で差があるんじゃないか、公立のほうに希望されるっていう保留者の方が多いんじゃないかというようなご意見、また保護者と保育者との繋がりっていうのもありますっていうご指摘でした。まず1件目の、実際今、川西南保育所をご利用の方の、8割ぐらいが久代小学校区から南保育所に通つていただいてます。そのほか2割が加茂小学校区であったり川西小学校区です。おっしゃるように、実際に影響を受けられる保護者の方に、この場所に変わったときに、通えますかっていうようなことをお聞きするってのはとても大切な観点だと思います。保留児の数についても、それについては今手元に資料ありませんが、戻つて公表できるものがご用意できると思いますので、お伝えしたいと思います。

ご質問については以上です。

(市民)

待機のボリュームをふやすつもり？

(副部長)

保留児が解消できるように

(市民)

解消出来へんやんか。行かしたくもないところに、おたくのこどもさん行かすの？

(市民)

無理くり行かそうとしてるんですよ。働かなしやあないから親が。

(市民)

だからね、考えてみたら分かるやん。行かしたくないところに行きたくないよ。行きたいときに行きたい。それができるなら、行きたいところを作つていこうとしてくれなあかんよ。何で行かしたくないようなところ作ろうとするの？そこへ行けへんかつて、久代は、こどもがあふれて見るものもおらんような状態で、そんなようなまちになつたときにあなたたちはどうしてくれんだ。第一、そこの園潰れちゃう。民間に任せとつてこども1人も来なかつたらつぶれる。

皆さんこの気持ちでそこに行けると思う？今も言ったけど、この熱中症だ言うてるときに坂上がって、熱中症で倒すぐらいやつたら、こどもたち行かさんとこ思つて、みんなが行けへんかったら、そこ、せっかくつくつたところ、こどもも来なかつたらどないするのよ。成り立たへんやん。そうじやなくて、やっぱり今言われるよう、みんながここへ行かしたい、こういうええとこあるねん、こんなすばらしいところやねんってこれだけ言ってるわけやから。それもっと理解してやっていかなあかんやん。何でそれが出来へん。人やろ、あんたら人間やろ。

(市民)

ここで言うてもやけれども、その地点は具合悪いと。要は、久代の拠点はここやねと。移したら困るということ、公立にしてくれということ。委託は困るでと。勝手に作るなら作つてもええけども、ここはここで置いといでと言う意見やということで。ずっと聞いとつたら帰られへんで。そんだけ意見があるということで、非常に困つたと。困つた顔してるやん。だから、あんたらに言うたって、そんな権限ないというのは分かるわ。何も言つても一緒やから。おたくらそんな権限ない、ほんなら移しませんとか言われへんやん。

だからそれをよく検討して、今まで意見を聞いて、上のほうに相談して、今後の計画を立てて参りますというふうに言うくれんと、いつまでたっても、いやいや、ここで決定してると。最後言ってたけども。

それで文句言うてんねんで。だからそれは、一度検討しますというぐらいして帰らんと、帰られへんわ。それだけ皆一生懸命なつてることを伝えておいてな。

(副部長)

今日いただいた意見につきましては、しっかりと報告をつたえるようにします。

(市民)

ちょっと、全然まだ、今回作つていただいた資料とかも聞きたいところがたくさんあるんで、いろんなたくさん出た意見だけじゃなくて、これ多分聞いて欲しい。何でというところもたくさんあるので。

(副部長)

わかりました。それはまたお答えできるようにお願いしたいと思います。

(市民)

絶対やって欲しいのが、次回、その話合いをするときまでに、1週間でも1ヶ月でもいいんで、ここを通勤するときに絶対通ってください。どれだけ危ないかって。もう僕、毎日通るのでわかってるんですけど。ほんまに危ないんで。ほんまに大丈夫かどうか、1回判断します。絶対とおっしゃるください。

(部長)

わかりました。

(市民)

同じ行政マンとしまして、コミュニティとか、自治会とか、保護者からこんだけ意見聞かず進めることはすごい、何だからなと思いながら聞きまして、助成金とかいろいろ自治会の方も、いろんな案出してはったと思うんで、その辺も含めて、所管課として市長に、話を伝えて欲しいなという。

以上、感じました。

(副部長)

そうしましたら皆さん本日は、このあたりでお開きにしたいと思います。

今後につきましては改めて連絡等をさせていただけたらなと思います。

本日はありがとうございました。